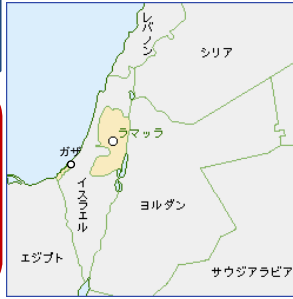




パレスチナ (Palestine)



- パレスチナへの援助総額は2014年までに累計約1,052億円。
- 日本は、パレスチナ難民支援、ガザ支援、民間セクター活性化、社会的弱者支援、財政支援など、多様な支援を実施。
- 「平和と繁栄の回廊」構想はイスラエルとパレスチナの共存共栄に向けた、日本独自の中長期的取組。日本、パレスチナ、イスラエル、及びヨルダンの4者による域内協力により、ジェリコ及びヨルダン渓谷の経済社会開発を行うもの。

地域概要

(基礎データ)	(略史)
<ul style="list-style-type: none"> 面積: 約6,020平方キロメートル(茨城県程度) 人口: 約475万人(西岸: 約290万人, ガザ約185万人) (UNRWA登録パレスチナ難民数: 約559万人) (2015年) 本部: ラマッラ 民族: アラブ人 言語: アラビア語 宗教: イスラム教(92%), キリスト教(7%), その他(1%) 議会: パレスチナ立法評議会 GDP: 約127億ドル(2015年) 一人あたりGDP: 約2,708ドル(2015年) 経済成長率: 3.5%(2015年) 失業率: 26%(2015年) 	<ul style="list-style-type: none"> 16世紀- オスマン帝国による統治 1947年 国連総会は、パレスチナをアラブ国家とユダヤ国家に分裂する決議を採択 1967年 第3次中東戦争により、イスラエルが西岸・ガザを占領 1993年 オスロ合意締結 1995年 パレスチナ自治政府による自治の開始 2004年 アラファト・パレスチナ解放機構(PLO)議長死去 2005年 アッパース首相(当時)の大統領就任 2007年 ハマスの武力によるガザ掌握 西岸とガザが事実上の分裂状態に 2012年 国連の非加盟オブザーバー国家の地位獲得

※特に注がない場合は外務省ホームページをもとに記載。

援助実績

スキーム	額(累計)
無償資金協力	約930億円 (2014年度末時点)
技術協力・草の根無償	約122億円 (2014年度末時点)

出典: ODA国別データブック2015

経済関係

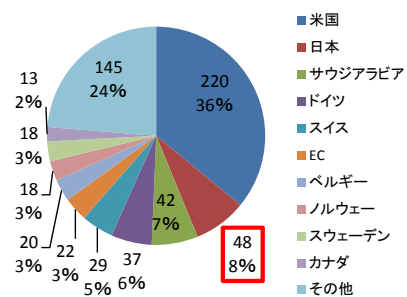
スキーム	金額(直近年)
日本からパレスチナへの輸出	約186億円 (2015年, 財務省貿易統計)
パレスチナから日本への輸出	約65億円 (2015年, 財務省貿易統計)

人的つながり

項目	人数(直近年)
パレスチナにおける在留邦人数	72人 (2015年, 法務省在留外国人統計)
在日パレスチナ人数	74人 (2015年, 法務省在留外国人統計)
パレスチナから日本への留学生数	18人 (2015年, 法務省在留外国人統計)

パレスチナへの主要ODA供与国 (2015年, 出典: OCHA/FTS)

単位: 百万ドル



日本とパレスチナとの協力年表

年代	案件
1953年	日本がUNRWA(国連パレスチナ難民救済事業機関)に初めて支援を拠出 今では対UNRWA支援TOP10ドナー国の1つ
1992年1月	地域の諸問題に関する多国間会議(於: モスクワ)開催 5の作業部会と運営委員会が開催され、日本は環境部会の議長、水資源部会、経済開発部会の副議長を務める
1993年9月	暫定自治原則宣言(オスロ合意I)調印 同年10月に設立されたパレスチナ支援調整委員会(AHLC)に日本は参加し、以後年2回のハイレベル会合に出席
1998年	JICAテルアビブ事務所及びガザ事務所を開設 (ガザ事務所には邦人常駐せず遠隔操作)
1998年7月	在ガザ出張駐在官事務所(日本政府代表事務所)を開設
2007年4月	在ガザ日本政府代表事務所をラマッラに移転
2005年1月	パレスチナ自治政府大統領選挙でアッパース大統領が当選、日本は選挙監視団を派遣
2006年1月	パレスチナ立法評議会選挙実施 日本は選挙監視団を派遣
2006年7月	小泉総理(当時)がパレスチナを訪問 パレスチナ、イスラエル、ヨルダンの地域協力によりパレスチナの自立的経済発展と信頼醸成を目指す「平和と繁栄の回廊」構想を発表
2007年8月	麻生外務大臣(当時)がパレスチナを訪問、「平和と繁栄の回廊」構想の旗艦事業として「ジェリコ農産加工団地(JAIP)」建設を発表
2012年11月	国連総会にて、パレスチナの「非加盟オブザーバー国」のステータスを付与する決議採択、日本も賛成、今後、国連においてパレスチナは「国」として扱われることとなる
2013年2月	パレスチナ開発のための東アジア協力促進会合(CEAPAD)第一回会合を開催(於: 東京)
2014年10月	ガザ復興支援会合を開催(於: エジプト) 同年夏のカザ紛争を受け、国際社会から約50億ドルの支援が表明される 日本から中山副大臣(当時)が出席し、2,000万ドルの支援を表明
2015年1月	安倍総理がパレスチナを訪問 対パレスチナ支援1億ドルを発表
2016年2月	アッパース大統領訪日 ジェリコのヒシャム宮殿モザイク床保護・展示施設整備事業に関する文化無償E/Nに署名
2016年4月	ガザで「東京リーグ」を開催 UNDP経由で日本が支援 サッカー、卓球、バレーボールの3競技にガザの若者約1,900人が参加



ガザ地区では東日本大震災を追悼し、日本への連帯を示すために毎年風揚げが行われている。



ジェリコ農産加工団地では現在、パレスチナ企業37社が入居契約を済ませており、そのうちの3社が生産を開始している。(2016年11月現在)



東アジア諸国の経済発展の知見を動員しパレスチナの国造りを支援すべく、日本が立ち上げた地域協議の枠組み。



8世紀に建設されたウマイヤ朝時代の初期イスラム建築の代表的文化遺産。中東でも有数のモザイク床が有名。